

心と心、笑顔のリレー



2026年
5月発行

VOL. 57



社会福祉法人 鷺鷥生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1101 FAX 076(437)1131
<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



看護部

看護部では、患者に関心を寄せ、患者・家族が求めることに気づくことのできる看護師育成に力を注いでいます。そのために、確かな知識と技術を提供できるよう、充実した教育体制を整備するとともに、専門看護師や認定看護師、院内スペシャリストの活躍の場を提供しております。

令和7年4月よりHCU以外のすべての病棟で2交代制を導入しました。ワークライフバランスの観点から働きやすい職場づくりに力を入れています。さらに、セル看護提供方式®を活用している部署もあり、患者のそばで看護を行うというメリットを活かしながら、身体拘束解除や転倒転落リスクの回避に努め、患者の療養生活が安心・安全となるよう取り組んでいます。

全職員がやりがいを持ち、働き続けることのできる職場となるよう、看護部一丸となり人生100年時代を見据え様々な課題に取り組んでいます。

文責／看護部長 殿谷 智子



(前列:左から) 表寺統括看護師長、黒原副看護部長、殿谷看護部長、飯野統括看護師長
(中列:左から) 沢田師長、藤縄師長、浅尾師長、山下師長、堀田師長、久和師長、山本師長
(後列:左から) 笹倉師長、場家師長、浜松師長

新任医師のご紹介

内科

佐野 功
サノ コウ

【専門分野】 糖尿病・内分泌内科

【出身地】 新潟県

【開業医さんへのメッセージ】

地域医療に貢献できるよう微力ながら力を尽くしたいと思います。

内科

敵 好弘
タンボ ヨシヒロ

【専門分野】 消化器内科

【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

地域医療に貢献できるよう精進いたします。

内科

舟木 諒
フナキ リョウ

【専門分野】 消化器内科

【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

地域の消化器癌で亡くなる方を1人でも減らすことを使命とし、頑張りますのでたくさんの紹介をよろしくお願いいたします。

内科

山本 悠剛
ヤマモト ユウゴウ

【専門分野】 消化器内科

【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

地域の先生方との連携を大切に、円滑な診療につながるよう努めてまいります。

内科

仙田 幸音
センダ ユキネ

【専門分野】 腎臓内科 【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

連携医の先生方のお力添えを賜りながら、地域医療に貢献できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

外科

長森 正和
ナガモリ マサカズ

【専門分野】 消化器外科

【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

患者さんに寄り添った診療、安全な手術を心がけてまいります。

整形外科

石田 善浩
イシダ ヨシヒロ

【資格認定】 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
日本ボクシング協会 コミッシュドクター

【出身地】 石川県

【開業医さんへのメッセージ】

スポーツ診療を専門としています。ご相談されたい患者さんがいらっしゃれば、気軽にお問合せください。

歯科口腔外科

中村 博幸
ナカムラ ヒロユキ

【資格認定】 日本口腔内科学会指導医
日本口腔科学会指導医

【出身地】 富山県

【開業医さんへのメッセージ】

生まれ故郷に戻ってきました。どうぞよろしくお願いいたします。

研修医のご紹介

川崎 修
カワサキ オサム

【出身地】 新潟県 【趣味】 マラソン 【座右の銘】 一期一会

【開業医さんへのメッセージ】

研修医1年目として、日々学びを大切にしながら、ひとつひとつの経験を着実に成長へとつなげてまいりたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

兪 知樹
ユウ トモキ

【出身地】 大阪府 【趣味】 眼鏡集め、散歩

【座右の銘】 疾風に勁草を知る

【開業医さんへのメッセージ】

医師としての第一歩を富山で踏み出すことに幸せを感じております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

中川 智広
ナカガワ トモヒロ

【出身地】 千葉県 【趣味】 野球観戦

【座右の銘】 縁の下の力持ち

【開業医さんへのメッセージ】

たくさん勉強し、富山の医療に貢献いたします。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

辻 裕太
ツジ ユウタ

【出身地】 岐阜県 【趣味】 映画鑑賞、読書

【座右の銘】 明日は明日の風が吹く

【開業医さんへのメッセージ】

研修医として学びながら地域医療の一助となれるよう励んでいきます。



院長コラム Vol.5

小学生が行方不明になった。手掛かりが得られないと人々の不安は増幅し、やがて憶測が広がる。かつてのキャンプ場での事故では、発見までの長い間、ご家族は心ない噂にもさらされた。人は「わからないこと」への不安から、時に真実とは異なる説明を作り出して安心しようとする。

こうした構図は医療現場にも見られる。症状はあるが検査で異常が見つからない場合、十分な説明が難しく診断が付かないことも多い。症状が続けば患者の不安は募り、医療者側も対応に苦慮する。その結果、双方が納得しやすい「自律神経失調症」という診断に落ち着くことも少なくない。

近年では脳脊髄液減少症、慢性疲労症候群や腸内環境などの研究が進み、「自律神経失調症」の一部の原因が明らかになりつつある。キャンプ場の事故の解決も長い間あきらめずに探し続けた努力があった。明確な異常がない領域にこそ丁寧に向き合い、不安に寄り添い、原因究明の努力を続ける医療の重要性に、今あらためて気づかされる。



院長 亀山 智樹



TOYAMA_INCHOU

Instagram
はじめました!



褥瘡対策チームの紹介



4月より褥瘡管理者に就任いたしました。私はこれまで皮膚・排泄ケア認定看護師として、褥瘡(床ずれ)をはじめとする創傷ケアや、ストーマ管理、失禁に伴う皮膚トラブルのケアに専門的に携わってまいりました。褥瘡は一度発生すると、患者さんや支えるご家族の「生活の質」に大きな影響を及ぼします。褥瘡管理者としての役割は、単に傷を早く治すサポートをすることだけではありません。多職種と連携し、栄養状態の改善や適切な体圧分散用具の選定、そして何より「褥瘡を作らない予防体制」を院内で徹底することだと考えています。また地域の医療機関や施設の皆様とも、切れ目のないケアを提供できるよう連携を深めていきたいと考えております。褥瘡管理に難渋する症例や、退院後の褥瘡ケアに関する不安などがございましたら、どうぞご相談ください。「皮膚の健やかさを守り、笑顔を支える」をモットーに、誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

文責／褥瘡管理者 舟田 あい子



当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

令和7年11月以降
CT・MRI予約枠
変更となりました。
電話(追加)予約時間は
8:30~18:00まで
延長しています。



検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00~11:30 (火・金以外)	月 14:00~15:00
	13:30~16:30 (月・水)	火 14:00~14:30
	RI	水 14:00~15:00
	8:30~11:30 (月~金)	木 14:00~14:30
	MRI	金 14:00~15:00
	9:30~16:00 (月・水)	

富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1101(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務